

平成24年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

長寿社会課 (内線: 7178)

4目 老人福祉費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
(新)鳥取型地域生活支援システムモデル事業 (地域コミュニティホーム事業)	24,000	0	24,000			(基金繰入金) 24,000												
トータルコスト	24,000千円 (前年度0千円) [正職員: 0.0人]																	
主な業務内容	申請書の審査、交付決定、補助金の支払い																	
工程表の政策目標(指標)	支え愛のまちづくりの展開																	
<p>事業内容の説明 【「鳥取県介護基盤緊急整備等臨時特例基金」充当事業】 【「とっとり支え愛基金」充当事業】</p> <p>1 事業の目的・概要 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域にある既存の民家や公的施設等の改修、地域住民による見守りや食事の提供、ライフサポートアドバイザーの活用により費用を低く抑えた高齢者の住まいを確保するとともに、地域の支え愛体制づくりのきっかけとするためのモデル事業を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>実施主体</td> <td>市町村が適当と認める地域住民が参加する法人又は団体 (市町村を経由した間接補助)</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>県 2 / 3、市町村 1 / 3</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>24,000千円 (1ヶ所当たり12,000千円 × 3ヶ所 = 36,000千円 × 2 / 3) ※県内3ヶ所においてモデル事業として実施予定</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>施設改修費及び運営費</td> </tr> <tr> <td>想定される取組</td> <td>・地域にある既存の民家や公的施設等を改修し、低額の利用料で利用できる鳥取県内の高齢者の生活実態に合わせた住まいを確保する取組。</td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点 地域住民の力を活用した高齢者の住まいを確保する事業は、全国的に見るといくつか先進事例があるが、それほど普及していない。また、利用者負担が月10万円以上となるため、利用者が一定の所得のある者に限られる傾向が見られる。 このため、既存施設や公的制度の活用、地域住民の力を活用し、鳥取型の支え愛まちづくりの展開を図る。</p>									実施主体	市町村が適当と認める地域住民が参加する法人又は団体 (市町村を経由した間接補助)	補助率	県 2 / 3、市町村 1 / 3	予算額	24,000千円 (1ヶ所当たり12,000千円 × 3ヶ所 = 36,000千円 × 2 / 3) ※県内3ヶ所においてモデル事業として実施予定	補助対象経費	施設改修費及び運営費	想定される取組	・地域にある既存の民家や公的施設等を改修し、低額の利用料で利用できる鳥取県内の高齢者の生活実態に合わせた住まいを確保する取組。
実施主体	市町村が適当と認める地域住民が参加する法人又は団体 (市町村を経由した間接補助)																	
補助率	県 2 / 3、市町村 1 / 3																	
予算額	24,000千円 (1ヶ所当たり12,000千円 × 3ヶ所 = 36,000千円 × 2 / 3) ※県内3ヶ所においてモデル事業として実施予定																	
補助対象経費	施設改修費及び運営費																	
想定される取組	・地域にある既存の民家や公的施設等を改修し、低額の利用料で利用できる鳥取県内の高齢者の生活実態に合わせた住まいを確保する取組。																	